授業科目　装具学特論実習

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	義肢
坂井　一浩　他	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	60

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

【一般目標：GIO】

義肢装具士に求められる実践的な技能を身につけるために、症例もしくは仮想症例を通じて、医療面接、機能評価、採寸・採型、製作、および適合技術と関連する問題解決能力を修得する。

【行動目標：SBO】

1．医療面接を正しく行える。
2．機能評価を正しく行える。
3．得られた情報から装具の使用目的を明らかにし、これに合致するデザイン検討が行える。
4．採寸・採型・トレースなど、対象身体部位の形状獲得作業が正しく行える。
5．材料加工、装具構成要素の組立てを正しく安全に、かつ効率的に実践できる。
6．装具の対象者への適合と評価を的確に行うことができ、適合に関する問題に正しく対処できる。
7．情報整理、記録、およびこれらの報告が正しく行える。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	医療面接	1	実習、担当：坂井　一浩
2	機能評価	2	実習、担当：坂井　一浩
3	得られた情報に基づく装具のデザイン検討	3	実習、担当：坂井　一浩
4	身体形状獲得および修正	4	実習、担当：坂井　一浩
5	材料加工と組立て	5	実習、担当：坂井　一浩
6	仮合わせ適合のプロトコールと問題解決	6	実習、担当：坂井　一浩
7	症例プレゼンテーション	7	ディスカッション、担当：坂井　一浩　他
8	まとめ		

【使用図書】	＜書名＞　＜著者名＞　＜発行所＞　＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	
参考書	
その他の資料	

【評価方法】

併行して開講する『装具学特論』と共に、以下の二項目で総合評価する：

1．技術レベル（臨床工程および製作工程）
2．知識レベル（ケースレポート）

【履修上の留意点】

履修登録者数を制限することがある。
履修希望者が多数の場合、１～３年次における装具関連科目の成績で判断する。